

たてやま

議会だより



No. **95** | 2025.8.1 |

令和7年6月定例会号



立山町HPは
こちら



6月定例会概要	2
委員会の審議	3・4
一般質問・質疑概要、賛否一覧	5
所管事務調査	6
総務教育常任委員会行政視察	7
ハッピーバースデー・ちょっと聞いてよ議員さん	7
一般質問	8～10
議長交際費支出状況・政務活動費収支報告	11
9月定例会日程、追悼の言葉、あとがき	12

TOPICS

町議員定数条例の一部改正について7

撮影日／令和6年6月1日
撮影場所／地鉄五百石駅
撮影者／久世邦雄 様

令和7年度一般会計補正予算額 5億9,469万円

一般会計総額 143億3,469万円

令和6年度一般会計補正予算額 3億5,451万円

(専決処分) 一般会計総額 147億5,661万円

予

算

◆主なもの

移住交流拠点施設整備

2億9,379万円

まちなかファーム焼失により物寂しさが感じられる五百石地区のまちなかに、住まい・仕事・物産を柱とする新たな交流の拠点となる施設を整備する。
(企画政策課)

町営バス運行体系
見直し検討

487万円

町民にとって使いやすく、効率的な運行体系を検討するため、コンサルタントに提案してもらい検討を進める。
(住民課)

高規格救急自動車の
取得

3,465万円

車両老朽化による更新のため、トヨタモビリティ富山(株)と契約を締結する。
(消防本部)

物価高騰対策

276万円

児童扶養手当の受給世帯にたてぽ(10,000ポイント)の付与やコスメ詰めギフトを無償配布し、ひとり親等世帯を支援する。
(健康福祉課)

米百俵基金への積立

200万円

佐藤鉄工(株)様と(株)サンリツ様からそれぞれ100万円ずつを教育に対する寄付としていただき、その目的に沿った基金に積み立てる。

(教育課)



立山駅周辺駐車場
有料化

200万円

立山駅周辺の活性化及び環境整備に役立てるため、千寿ヶ原1号公園駐車場利用時に任意の協力金制度として導入する。

(商工観光課)

委員会の審議

町議会では、2部門の常任委員会に分かれて、提出議案を審議しています。



令和6年度補正

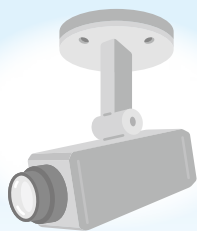
令和7年度6月補正

総務課

Q 防犯カメラ設置に係る工事請負費の概要は。

A 平成25年に庁舎に設置したカメラを活用するが、録画装置等は、設置後10年経過しており更新する。

庁舎既設のカメラは5台あるが、1階に1台、2階に4台、3階に1台追加する。
みらいびの健康福祉課、保健センターに2台を新設する。



企画政策課

Q 地鉄立山線再構築実施可能性調査業務の詳細は。



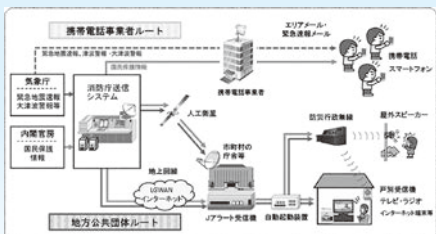
立山駅

A 地鉄立山線の課題等の整理、地域にもたらす価値や周囲の環境の分析といった内容を予定している。
調査はコンサルタント業者に発注をすることになる。

総務課

Q 新型受信機を購入する全国瞬時警報システム（Jアラート）の概要は。

A 弾道ミサイル情報や緊急地震速報等、国から住民に瞬時に情報を伝える。必要がある場合に町の防災無線に連動・起動して知らせるものである。



教育委員会

Q 給食センターの機器設備維持の方針は。

A 現在、町学校給食センターは、建設から14年が経過し、機械設備等が経年劣化により故障頻度が高くなっている。

令和5年に機械設備等に係る長期保全基本計画を策定し、計画的に更新を行うこととしている。

また、毎年機械設備の点検を実施しており、不良又は不具合箇所が見つかり、緊急性が高いものについては、当該計画に関わらず対応している。

企画政策課

Q 移住交流拠点施設について、建設予定の場所は。

A 詳細は、決定しておらず、今後建設課の都市再生整備計画事業に添って地権者と調整していく。



教育委員会

Q 勤労青少年ホーム機能を上東交流サロンに移すにあたり、閉館時間は午後5時までとなる。今後の夜間利用の対応は。

A 現在11の定期利用団体のうち、夜間利用をしている1団体と地元の会合については、これまでどおり利用ができるよう運用する。

消防本部

Q 町消防団条例の一部改正案から団員の階級が削除されている理由は。

A 団員の階級については、規則で定めることとする。※

※機能別団員に限り、年齢上限を撤廃し、75歳以上の元気な方に活動していただくため。

総務教育常任委員会

全国瞬時警報システム（Jアラート）の概要は 緊急情報を防災行政無線に連動・起動して知らせる

令和6年度補正

健康福祉課

Q 「自立支援」
「障害児施設」
の給付事業が増額と
なっているが、その
経緯は。A 施設利用者数と
相談件数が増えたこ
とに加え、報酬改定
による給付単価が上
がったことによる。

建設課

Q 除雪業務を請
け負う業者の
担い手確保の対策
は。A これまでどお
り、オペレータ育成
に補助するほか、各
事業者への委託割
振りの見直し、土木
事業所関係だけでな
く除雪に協力してい
ただける方を募るな
ど、取り組んでいき
たい。

商工観光課

Q 鉄道等維持活
性化事業とし
て、千寿ヶ原の立山
町駐車場に任意の協
力金という形で有料
化する。A 近隣にある県の無
料駐車場との関係
は。A 県営駐車場は、
無料のままとなる。
これまでも有料化
するよう県へ要望し
てきたが、これから
も町として要望を続
けていく。

千寿ヶ原1号公園駐車場位置図

健康福祉課

Q ひとり親等支
援として「生
活支援ポイント付
与」及び「コスメ詰
合せギフト配布」を
行う(8/17配布日)
が、来れなかった方
への対応は。A 配布翌日から8
月22日までの間、町
健康福祉課社会福祉
係窓口で配布する。

商工観光課

Q 岩崎寺地内に
ある観光看板
について、下部に「立
山町・立山町観光協
会」と書いてあるが、
所有者不明とした経
緯は。A 平成25年に板面
書き換えのため持ち
主を探したが、見つ
からなかったため、
町と観光協会が上か
らシートを貼った経
緯がある。
今回内部が腐食し
倒壊の危機があるた
め、緊急安全措置と
して、町で撤去する
こととした。

撤去予定の看板

住民課

Q 町営バス運行
体系見直し検
討支援業務委託によ
り、今後の見直しは。A 交通弱者対策と
して町営バスを運行
しているが、県内他
自治体の事例を参考
に、住民にとって使
いやすい町の経費的
にも助かるものとし
ていきたい。

町営バス

Q ごみ集積箱等
購入補助金に
ついて、今年度の補
助予定件数は。A ステンレス製が
12件、アルミ製が3
件の計15件である。

農林課・農業委員会

Q 中山間地域等
直接支払い事
業について、ネット
ワーク化活動計画の
詳細は。A 町内に10ある集
落協定が連携し、共
同で事業を行ってい
くための計画であ
る。

水道課

Q 東中野新地内
の圃場整備につ
いて、県の圃場整備1
期・2期があるが、
2期分の協議の有無
については。A 県の事業では旧
県道を挟み東西一か
所ずつ実施するが、
現時点では県から1
期分についてのみ協
議があった。

令和7年度6月補正

一般質問

6名の議員が質問を行いました。
一部の質問・答弁について、
その要旨を掲載しています。

賛否はこちら▶



その他の質問は
こちら▶



詳しくは、図書館や議会事務局に会議録があるほか、町ホームページでも見る
ことができます。 <http://www.town.tateyama.toyama.dbsr.jp/index.php/>



平井久秋 議員

米飯給食

米価上昇で
保護者負担は

補助金増額を検討

町長 学校給食で提供する米は、購入先との間で11月から翌年10月までの年間購入契約を締結している。
現在提供している令和6年産米は、令和5

議員 昨年から米価上昇が異常だ。1年で2倍になることは想定外であったと思う。物価高騰の折、これ以上の保護者負担はさせられない。給食費が決まっている中でどのようになるのか。

教育課長 現在、教育委員会が所管する学校

議員 再度の質問になる。前回は、閉館時間帯を含め、自由に利用することはできないとの答弁だった。
だが町有施設を有料で利用するのに、それでは不公平ではないか。
蹴破り扉が無理なら、他の対策を考えるべきだ。

利用できるよう運用を見直したい

蹴破り扉以外の対策を

AED

年産米と比較すると約1.6倍の値上げ幅になっている。
しかし、令和7年度予算で、米、野菜等の高騰を受け全児童に対し、給食費1食あたり35円の補助を行っていること、加えて第2子に3分の1、第3子以降に3分の2の給食費の補助も行っていること、現在、野菜等の価格が安定していることから現時点で値上げの検討はしていない。

今年11月以降の米価格の予測はできないが、仮に、給食費の値上げが必要となった場合、これ以上の保護者負担が生じないよう補助金額の増額を検討したい。その際には、議会にも相談させていただく。

開放施設において、グラウンド利用者にも体育館を開けることができる鍵を貸出し、AEDを利用できるよう考えている。
また町営体育施設のグラウンド6施設も全てAEDが設置された体育館に隣接していることから、学校体育施設同様に鍵を貸出し、利用できるように、運用を見直したい。



総務教育常任委員会所管事務調査

■ 日 時：令和7年5月21日(水)

■ 参加委員：委員長 松倉 勝実 委員 後藤 智文 委員 内山 昭
副委員長 広島 秀一 委員 佐藤 康弘
議長 村上 紀義

■ 調査内容

総務課所管

防災行政無線子局 63 局更新工事

現在の設備の老朽化が進み、設備の維持管理が今後難しくなるため、高性能スピーカーへの切替など機能強化を行う。高性能スピーカーは、調査結果に基づき音声が届きにくい子局63局に82台設置予定である。なお、令和6年度に機器調達を実施済みで、令和7年度に工事を実施予定である。



現在の子局

消防本部所管

防災資機材倉庫、夜間照明整備工事

旧町民体育館の解体跡地に大規模災害対応のため、防災資機材倉庫及び夜間照明装置を設置する。倉庫は、消防署グラウンド南東側約50m²を新築予定で、備蓄食料、毛布等を収納し、災害時などに早急な対応が出来るよう整備する。また、夜間照明装置は、2基を新設、既存2基をLED照明に改修し、住民避難地等として、解体跡地を含めグラウンド全体を照射可能にする予定とのことである。

教育委員会所管

雄山中学校体育館エアコン設置工事

快適な環境づくりのため体育館にエアコンを整備し、夏場の学習、集会や部活動等が制限なく実施できるようにする。また、緊急時の避難施設に指定されているため、施設の機能向上も図り、避難者がより安心・安全で過ごせるようにする。

産業厚生常任委員会所管事務調査



■ 日 時：令和7年5月16日(金)

■ 参加委員：委員長 堀田 努 委員 坂井 立朗 委員 平井 久秋
副委員長 澤井 峰子 委員 岡田 健治 委員 髪口 清隆
議長 村上 紀義

■ 調査内容

建設課所管

町道銚木1号線道路整備工事（銚木地内）

道路の幅員4mを6mに拡幅し、老朽化した橋を架け替える工事を行う。

立山町総合公園施設長寿命化工事（野沢地内）

令和7年度、立山町都市公園寿命化計画に基づき、老朽化が進行しているトイレの改修、照明灯19基の改修、時計塔1基撤去、1基更新の予定である。



町道銚木1号線



エコキュート設置前

健康福祉課所管

下段保育所遊具更新工事（下段地内）

下段保育所の老朽化した4連ブランコと周囲の柵を撤去し、インクルーシブ遊具へ更新する。

下段保育所シャワー設置工事

砂遊びや水遊びの後、体を流してから保育室入れるよう、保育室外部にシャワー1基、エコキュートを設置する。

町議員定数条例の一部改正について

議員定数削減

6月定例会において、議員定数がこれまでの14名から12名への削減が決定した。

これまで数年にわたり、議会改革特別委員会や議員懇談会において幾度となく議論されてきたが、令和8年の改選時から実施される事となった。

削減によって町民の声が町政に届きにくくなるのではないかなど、さまざまな意見が飛び交っていたが、町民が安全にそして安心して暮らしていけるように、今後は議員個人の質を今まで以上に向上させ、議会を運営していくよう努力をしていかなければならない。

総務教育常任委員会 行政視察報告

■日程：令和7年6月25日(水)～27日(金)

■視察研修地：山形県・宮城県

■参加委員

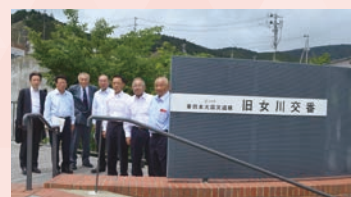
委員長 松倉 勝実 委員 後藤 智文 委員 内山 昭
副委員長 広島 秀一 委員 佐藤 康弘 議長 村上 紀義

高畠熱中小学校 廃校利用の取組について

熱中小学校は、廃校になった小学校を大人の学び舎として利活用した取組みで、「NPO法人はじまりの学校」が主導して設立された。その学び舎には学べる機能の他に、サテライトオフィス、地域おこし協力隊の拠点にもなっており、地域住民を巻き込み賑わいと活気であふれた調和のとれた組織であった。今後、町の廃校利用に活かしていきたい。

道の駅女川 東日本大震災遺構の保存について

道の駅女川周辺は、震災後の津波対策として土地の嵩上げが行われており、震災遺構である「旧女川交番」は、広場から見下ろす形で残されていた。鉄筋コンクリート造の建物が津波で転倒したのは、世界でも例がない。震災遺構として残すものとして、当時のまま保存されている。経年劣化の補強は行わず100年程度の保存を目指している。



旧女川交番遺構

東松島市役所 東日本大震災対応と防災の取組について

東松島市では、平成24年10月に「防災備蓄計画」を策定し、鉄骨平屋建、建築面積1,498.17㎡、総事業費1億9千9百万円の市防災拠点備蓄基地を整備した。平成26年2月に共用が開始され、市内25か所に最低限必要な食糧、飲料水、生活必需品等の物資を発災から3日間賄える量を備えている。

年間に1千万円をかけて管理業務を委託し、災害時や他市町村より災害物資・機材の提供要請があってもすぐに使用できる状態を常に保っており、見習いたいところである。

議員さん

ちょっと聞いてよ!

議会だより「ちょっと聞いてよ! 議員さん」への投稿を募集します!

町民に親しまれる議会だよりへの取組の一環として、「ちょっと聞いてよ! 議員さん」のコーナーに掲載する皆さんの「思い」を募集します!

応募上の注意

- 紙面に掲載する情報は、氏名、顔写真(任意)、思いです。
- 応援、要望、希望など自由にご記入いただけます。(個人の誹謗中傷などは受付できません。)
- 紙面スペースの関係上、一部を要約して掲載する場合や掲載そのものができなくなる場合があります。

★11/1～1/31 ハッピーバースデー★

11/1～1/31 生まれ募集中!!!

立山町民で、11月1日から1月31日までの間にお誕生日を迎えられる方の掲載写真を募集します! 町民みんなでお祝いしましょう!

応募はこちらから

立山太朗さん 2才

立山花子さん 3才

立山次郎さん 1才

※上記は掲載イメージです。



髪口清隆 議員

コミュニティ・スクール

手応えは

一体感が深まった

議員 令和6年度、町内の小中学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールを導入した。今年度より本格的に運営されているが、現在の手応えや今後の展望は。

教育長 地域住民が運営協議会の司会を務め、議論を深めていくという形式に変化してきた。

改善を学校側に任せ

るような発言ではなく、当事者意識を持つて対応にあたらうとしたり、機会を捉えて関係者に説明したりしていこうという発言が聞かれるようになる等、学校と地域の一体感が深まったと手応えを感じる。

防災DX

取り組み状況は

議員 内閣府は、災害時に国と自治体情報共有するための「防災デジタルプラットフォーム」の整備に向けて、災害情報を地理空間情報として共有できる「新総合防災情報システム」の構築を行っている。

このシステムを閲覧するためのアカウントの申込状況は約60%の事だが、立山町での取り組み状況は。

総務課長 町は、この

令和7年度からは、「地域学校協働本部」を設置し、統括推進員として校長経験のある人材を配置し、オブザーバーとして参加している。学校と地域の更なる連携・協働が推進されるよう、期待している。

アカウント所得済み

システムのアカウントを申請・所得済みだが、活用するには至っていない。

今後の広域災害においては、多様なデータを活用した災害対応が重要となるので、新総合防災情報システムを活用できるよう、取り組んでいきたい。

防災DXとは
デジタル技術を活用して災害予測や情報共有、避難支援などの防災活動を効率化・高度化する取り組みのこと。

固定資産税率

元に戻しては

税率は戻さない



後藤智文 議員

議員 物価高騰は町民生活を直撃している。国の対策頼みでなく、立山町独自で取り組めるものはないか。17年前から引き上げられている固定資産税率は、当初目的を達成している。税率を元に戻し、町民生活の一助とするべきではないか。

町長 税率を戻した場合、その差額は1世帯平均年間約2000円になる。物価対策の有効性としてどうとらえるか。真に困っている方を支援すべきと思っているので、税率を戻すことは考えていない。

物価高騰対策

給食費を無償化しては

国の動きを見極め検討

議員 物価高騰対策、少子化対策、教育費無償という観点からも給食費無償化に舵を切るべきではないか。

町長 町で無償化を実施した場合、1億円を上回る財源が必要で、安定的に実施できる財源も検討する必要がある。国は、令和8年度から小学校の給食の無償化を進める動きがあり、その動きを見極めながら、補助について見直しを検討したい。



議員 「まちなかファーム」に替わる施設として国の交付金を活用した「移住交流拠点施設」概要は。

町長 現段階で想定しているのは、住まい・仕事・物産の3事業拠点を柱としている。

現在、役場の移住定住相談では、空き家購入後の建設やリフォーム

移住定住 移住交流拠点施設の概要は

住まい・仕事・物産の拠点を想定



澤井峰子 議員

ム等の個別事業者を紹介することはできないため、行政にはできないきめ細やかな相談体制を整備し、利便性を高めていきたい。

また、「休んでかれや」で以前行っていた物産の発送を再開してほしいやシェアキッチン

物価高対策

幅広い世代への支援を

議員 幅広い世代への支援策が必要ではないか。

町の対策は。

町長 国の交付金を活用し、令和6年度は低所得世帯、子育て世帯の支援を行った。

令和7年度では給食費や公共交通事業者への支援に加え、本定例会では児童扶養手当受給世帯への支援を提案している。



7月よりたてポ10倍開始

限られた財源のなか、一定範囲の支援に理解頂きたい。

なお、7月から立山舟橋商工会による「たてポ10倍キャンペーン」を開始する。町民や小売店舗等幅広い支援に繋がるよう支援していく。

ンがあれば、チャレンジショップで喫茶店や子ども食堂をやりたいとの声がある。今後、ワークシopp等を開催しながら、さらに町に暮らし続ける人、暮らしした人の交流が生まれる施設にしていきたい。

都市計画マスタープラン 住みやすい街づくりを

民間と提携し提案募集



堀田 努 議員

町長 今後予定している市街地整備の案件としては、役場庁舎及び

議員 市街地整備をして安全で快適に暮らせる市街地づくり、楽しさと賑わいあふれる市街地をつくることを目標に策定された。町中心部の五百石地区では空き家問題などの課題が多いが、主な内容を問う。

不審者対策

現実を意識した危機管理は

五百石公民館の再配置ほか、五百石駅を中心とした公共交通ネットワークの構築と、歩行者に優しい道路整備を行う。民間連携可能性

調査を行い、開発を希望する事業者また、まちなかファーム跡地の構想においても、提案募集や整備方策の検討を進める。

常に有事を想定し訓練

議員 東京都立川市で、従来では考えられない要因で不審者が小学校に乱入し、教師に対して暴行を加え、子どもたちにトラウマとして残るような恐怖を与えた。

不審者の侵入が予想される場所の対策、危機管理をあらためて問う。

教育長 児童生徒を犯罪被害から守るため、危機管理マニュアルに基づき、授業時の校舎内入り口を玄関1か所のみとしてその他を施錠し、関係者以外の学校への立ち入りを制限

するとともに、校長等が定期的に構内を巡回している。各学校で、実際の有事に備えて予め決められた行動ができるよう、児童生徒を含めた避難訓練を定期的に行っている。

学校安全アドバイザー派遣事業を活用し、教職員を対象に不審者対応訓練を行い、児童の避難訓練に対してもアドバイザーから指導助言をもらう。児童生徒が安全に安心して学校生活を過ごせるよう学校と連携し、必要な防犯備品を整備するなど防犯対策を強化していく。

一般質問

消防長 当町も山林が多くあることから火災発生時には、消防防災ヘリコプターの要請や

議員 全国で山火事が発生し大きな被害が出ている。
先日も県の防災ヘリコプターと連携訓練が実施されていましたが、山火事が発生した場合の対応、対策は。

山火事

発生時の対応は

巡回や防災行政無線を活用



広島秀一 議員

農林課長 町有害鳥獣被害対策実施隊、協力事業者認定制度を導入し、サル捕獲にかかる報奨金を1頭あたり五千円増額することでサルの捕獲が推進される試みを開始した。
集落で追い払いを実施する花火や爆竹の配

議員 ニホンザルは令和7年度に41頭の捕獲許可が出たとのことだが、鳥獣保護管理法の改正に伴う課題や対策は。

サルの対策は

有害鳥獣

県内消防署へ応援派遣要請を行うなど迅速な対応が必要と考えている。
林野火災対策としては組み立て式水槽や背負い式消火袋を使用した訓練等実施している。また今回初めて県消防防災ヘリコプターとの連携訓練をした



電動エアガン

電動エアガンを貸出
布、電動エアガンの貸出を行っている。
今後関係機関と連携し、サル対策に取り組んでいく。



防災ヘリコプター

が、今後は定期的に実施していきたい。

主な条例等の一部改正など



(うち町税条例は専決処分の承認)

■立山町税条例の一部改正について

法改正により軽自動車税種別割の二輪車の車両区分を見直すほか、令和8年度課税に向けた大学生年代の子等に関する特別控除の創設や加熱式たばこの課税方式の見直し等について、関係規定を改正するもの。

■立山町重度心身障害者等医療費助成に関する条例の一部改正について

領収書を役場に持参して助成の申請手続きを行う償還払いから、令和7年8月診療分より県内医療機関で受診した場合について、役場での手続きが不要の現物給付による助成を可能とするため、関係規定を改正するもの。

■立山町勤労青少年ホーム条例を廃止する等の条例について

法改正により設置根拠が削除されたため、町勤労青少年ホーム条例を廃止し、上東地域活性化複合施設設置条例及び上東交流サロン設置条例の一部を改正して、令和8年4月より同ホームの機能を上東交流サロンに移すとともに開館時間や使用料を使用実態に合わせるため、関係規定を改正するもの。

■立山町地産地消加工施設設置条例の全部改正について

上記の町勤労青少年ホームの機能移転に係る条例の廃止・一部改正をうけ、地産地消加工施設条例についても文言等の整理を行うとともに、令和8年4月より施設利用を1日単位のほか、半日単位の利用を可能にするため、関係規定を改正するもの。

請願・陳情の審議

請願・陳情第1号 「最低賃金の全国一律制と中小企業支援の拡充を求める意見書」についての陳情

採択結果 不採択

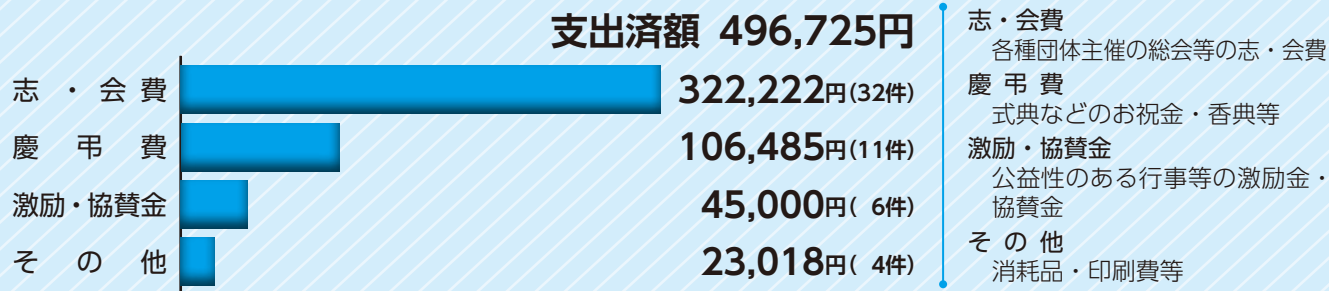
不採択理由 県議会の決定に準ずるべき。物価が異なる全国で一律の最低賃金はありません。

請願・陳情第3号 富山県中新川郡立山町大窪ニュータウンにおける農地開発申請に関する調査と第三者委員会設置の請願

採択結果 不採択

不採択理由 許可権限者は県であり、町に権限はない。取り水配管については設置者が責任を負うべき。

令和6年度議長交際費支出状況



令和6年度政務活動費収支報告

令和6年度の政務活動費は下記のように使われました。

政務活動費は、議員が町に関する施策を調査研究するために必要な経費の一部として報酬とは別に議員1人当たり、年額12万円（1万円／月）が交付されています。

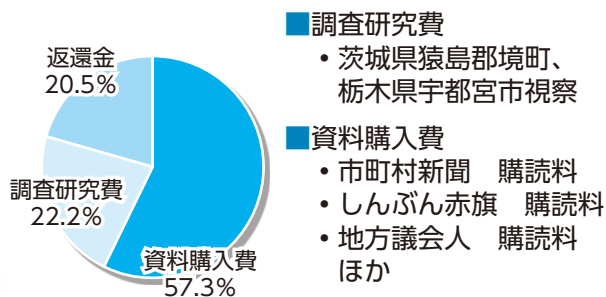
※交付額を超過した支出については、各会派で負担しています。

自民党議員会【10人】

交付額 1,200,000円

支出済額 954,284円

返還額 245,716円

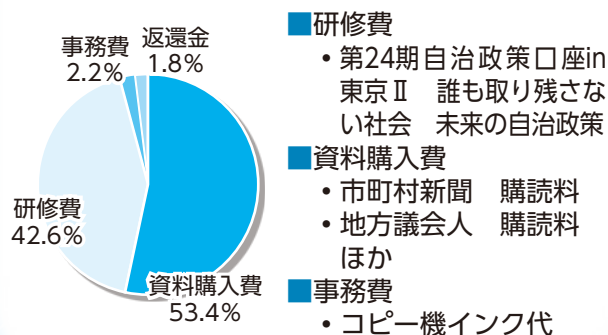


公明の会【1人】

交付額 120,000円

支出済額 117,869円

返還額 2,131円

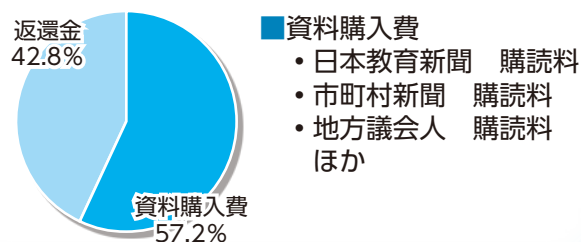


自民クラブ【1人】

交付額 120,000円

支出済額 68,606円

返還額 51,394円

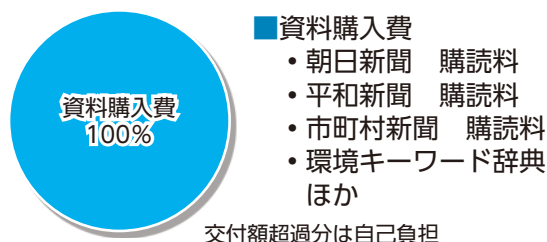


日本共産党【1人】

交付額 120,000円

支出済額 205,497円

返還額 0円



※詳細は町HPに掲載

9月立山町議会定例会日程

期日	時間	会 議 内 容
3日(水)	10:00～	●本会議 (提案理由の説明) ●全員協議会
11日(木)	10:00～	●本会議 一般質問・質疑、 議案等の委員会付託
12日(金)	9:00～	●総務教育常任委員会
16日(火)	9:00～	●産業厚生常任委員会
19日(金)	13:30～	●本会議 (委員長報告、討論、採決)

★本会議の傍聴…どなたでも傍聴できます。

★委員会の傍聴については、議会事務局にお問い合わせください。

今回の
表紙
テーマは

あなたの／とおき／の一枚

他人に自慢したい風景・人(家族、友人など)・
行事など幅広くご応募ください。



応募は上記からも
可能です。

応募期間 令和7年8月1日(金)から令和7年9月19日(金)まで

応募資格 立山町に在住、在学、在勤の方

募集写真 ●1年以内に立山町内で撮影した風景、イベント、人等の写真(1人2枚まで)
●デジタル写真データ(JPEG形式、サイズ1MB以上5MB以下)

応募方法 必要事項「住所、氏名、電話番号、撮影場所、撮影日、写真タイトル」
を明記の上、USBメモリ等の持参又は郵送、電子メール等により
ご応募ください。

掲載方法 ●町HP及び議会だより本紙(11月1日発行)にて掲載します。
●掲載する情報は、「写真、氏名、撮影場所、撮影日」です。

**応募上の
注意** ●応募者ご自身が撮影した未加工のカラー写真で、未発表のものに
限ります。
●掲載写真に関する著作権、肖像権等に関する責任は全て応募者に帰
属し、無償で立山町議会が使用することを許諾することとなります。
●紙面の都合上、トリミング等の加工を施す場合があります。

応 募 先

〒930-0292 富山県中新川郡立山町前沢2440番地
立山町議会事務局内 議会広報特別委員会
E-mail: gikai@town.tateyama.lg.jp

去る4月26日に逝去されました故伊東幸一議員に對し、謹んで哀悼の言葉を申し上げます。

あなたは、昨年末から体調をくずされ、今年の3月議会では、精一杯の力を振り絞って代表質問をされ、議会議員としての矜持を全うされていたことが、今でも脳裏に焼き付いています。

一般質問は議会の花と言われますが、まさに議会同人として立派にやり遂げられた姿は一生忘れません。

伊東さんの議員生活を振り返れば、平成18年に初当選されてから5期務められました。その間、議長をはじめ、副議長、監査委員2回、そして議会運営委員会などすべての委員長の役職を果たされてきました。

議会内では、一般質問や委員会、専門の農業を中心、質問され、地元の豪雨災害復旧では住民の声を十分に届けられていました。



故伊東幸一議員 追悼の言葉

議会以外では、清涼飲料水製造会社の会長として、また、アルプス農協での長期にわたる理事としての活動、そして、弓道協会の会長、さらに地元での親身になつての世話活動と本当に幅広く活躍されていました。

伊東さんを語るとき、本当に人を包み込む温かな優しい人柄と、まなざしがまぶしい方であり、町民のために、町のために、そして議会のために全生涯をかけた方でした。今、この議場にあなたの姿が見られないのは本当に寂しい限りです。長い間本当にお疲れさまでした。

今は亡き故伊東幸一議員に心から哀悼の誠を捧げ、立山町の発展と平安をお守りいただき、安らかなるお眠りをお祈り申し上げます。

そして、ご遺族の皆様の前途に限りなきご加護を賜りますよう念じまして、追悼の言葉といたします。

本会議初日の発言より抜粋

あとがき

猛暑の中、町民の皆様いかがお過ごしでしょうか。

私たち広報特別委員一同、町政を分かりやすくお伝えするため、月号汗を流して編集しております。

その中で、町民の皆様の視点が必要と感じることもあります。そこで、議会だよりに対し忌憚のないご意見をお寄せいただきたく「ちょっと聞いてよ！議員さん」等のコーナーにもドシドシご応募ください。お待ちしております。

さて、近年の気候変動は、私たちの予想を上回り、国土が沸騰し、災害も激甚化しています。

今後も起こりうる災害に備え、暑さへの対策をしていただき、くれぐれもご自愛ください。

(松倉 記)

議会や議会だよりについて、みなさんの
ご意見・ご感想は

立山町議会内 議会だより係 まで

TEL 076-462-9984 FAX 076-464-1118

E-mail gikai@town.tateyama.lg.jp

図書館及び町HPの「議会会議録」もご覧ください

議会広報特別委員会

委員長 広島 秀一
副委員長 堀田 努

委員 澤井 峰子
平井 久秋
髪口 清隆
松倉 勝実